

## 編集 後記

今月号も幅広い分野からの論文・報告が掲載されています。久しぶりの論壇は、多施設共同疫学研究における中央事務局業務の実態の報告と、これからの標準化にむけた提言をまとめたものであり、多施設共同研究のみならず、単一施設で行う研究者にとっても、非常に参考になるものと感じました。特に表2にまとめられたベスト・プラクティスには、多施設共同研究を運営された経験豊富な著者ならではのポイントも多く盛り込まれております。円滑な事務局業務の運営を図ることは、ひいては質の高い研究の遂行につながるものと考えますので、是非、多くの方に参考にして頂きたいと思っております。

原著論文では、わが国の MSM (men who have sex with men) を対象とした HIV 抗体検査受検行動に関する研究成果が報告されています。公衆衛生学的意義の高いテーマですが、この分野の本邦における報告は少ないので、今回、興味深く拝読させて頂きました。手前みそで恐縮ですが、学部学生を対象とした演習で学术论文のクリティークを取り入れており、本誌の掲載論文も活用させて頂いております。公衆衛生学的にも重要なテーマで、さらには、講義で学んだ研究デザインや統計学的検定方法の使用例を確認できる論文を中心に選んでおります。今回の原著論文も、近いうちに本学の学生演習に登場することになるでしょう。本誌の掲載論文は、会員のみならず、公衆衛生学を志す後進の指導にも活かされておりますことをお伝えしておきたいと思っております。

今月は、会員の皆様一堂に三重の地に集まります。当日の発表のみならず、本誌で掲載された論文を通じた交流もあることでしょう。多くの出会いが、将来の新しい共同研究へと発展し、さらに質の高い意欲的な投稿論文が増えることを期待しております。(郡山千早)

### 次号予告 (第60巻・第11号)

#### 原著

地域高齢者におけるサルコペニアに関連する要因の検討……………谷本芳美, 他

#### 研究ノート

保健所の性感染症相談・検査事業のクラミジア検査における病原体検査の意義……………羽鳥 徹, 他  
海外食中毒事例の解析から想定される輸入食品のリスク……………金山敦宏, 他  
青年期にある広汎性発達障害を持つ本人・家族の生活面の困難さに対する保健師の支援プロセス……………塩川幸子, 他